

2018/06/06



環境対応型添加剤



ディスパロン PF-911

非水系塗料用沈降防止剤

ディスパロン PF-911 は、既存品のディスパロン 4200-10 の脱芳香族、環境対応型酸化ポリオレフィンペーストです。ディスパロン 4200-10 同様、PF-911 は酸化ポリオレフィンを主成分とした微粒子分散体で、塗料中において顔料や充填剤等と共に緩い凝集構造を作り、チクソトロピックな性質を付与します。そのため、顔料の沈降防止や、ハードケーキング防止に効果を発揮します。強固な凝集構造は作らない為、塗料を過度に増粘させずに顔料分散系塗料の沈降防止剤として幅広く使用する事が出来ます。

■性 状 (一般性状であり納入規格ではありません)

外 観	白色～微黄白色流動ペースト
加熱残分	10%
溶 剤	アルキルシクロヘキサン／酢酸ブチル
密 度	0.84 g/cm ³ (20℃)
融 点	約100℃ (固形分)

■分散効果及び使用方法

- 油性、合成樹脂塗料系（アルキド、アクリル、ウレタン、エポキシ、ポリエステル等）に幅広く適用可能です。特に自動車用塗料のメタリックの沈降防止に適します。
- 分散は通常ディゾルバーを用いて、攪拌添加での使用を推奨します。どの塗料製造工程でも添加する事が可能ですが、分散が悪い場合は製造工程初期での添加を推奨します。分散に問題が無ければ製造工程終盤の粘度調整時での添加も可能です。分散条件によってはペーストの乾燥片や粗大粒子が残る場合がありますので必ず濾過工程が必要になります。
- 分散温度は 40℃以下での使用を推奨します。50℃以上で使用する場合、光沢低下や面荒れが発生する可能性があるため、十分な検討の基で使用して下さい。
- 添加量は 1~5%が標準です。(塗料全配合に対する重量比)
- 自動車塗料中のパール顔料沈降防止の様な強い効果が必要な場合、アマイドペーストタイプのディスパロン PFA-231 等を用いますが、その時ディスパロン PF-911 を 1/1 程度で併用する事により塗装面状態を改良する事が出来ます。
- 製品の性質上、製造後缶中で固化する傾向が認められるものであります。特に寒冷期、開缶時固化もしくは部分的に塊状物が生成していることがあります。この状態でありましても性能への影響はありません。缶を震盪させ取り出し易くしてから使用して下さい。
- ディスパロン PF-911 は 40℃以上で長期間保管しておくことにより変質する場合がありますため、40℃未満での保管を推奨します。

この製品の使用に関する当社の情報は信頼し得ると考えられるデータに基づくものですが、内容につきまして確たる保証するものではありません。製品の使用条件については弊社が制御出来ないからです。全ての製品は御需要家各位で適性を試験された上御利用頂くと共に全ての不注意や不適切な取扱いによる損害への補償は致しかねます。尚、安全性や取扱い方法についての詳細な内容が必要な場合には安全データシート(SDS)を御参照下さい。また本製品の御使用に当たっては御需要家各位で現存する特種々に抵触しない事を調査して頂く様お願い致します。

© 2018 All Rights Reserved By Kusumoto Chemicals, Ltd.